参考１

次世代グローバルリーダー事業
「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」※1及び
国際青年育成交流事業における近年の交流対象国について

内閣府の青年国際交流事業においては、我が国の近隣にあるアジア各国については、「東南アジア青年の船」によるＡＳＥＡＮ１０ヵ国との交流、日本・中国青年親善交流、日本・韓国青年親善交流を実施。次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」及び国際青年育成交流事業については、地域バランス、相手国側の受入体制等を考慮しつつ、毎年交流対象国を変更。平成２４年度～平成２８年度に交流対象となった国は以下のとおり（表中下線の国は日本青年訪問国）。

	次世代グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」	国際青年育成交流事業
アジア	インド、スリランカ	カンボジア、ラオス
オセアニア	オーストラリア、フィジー、ニュージーランド、トンガ	パプアニューギニア
中東	バーレーン、エジプト、オマーン、トルコ、アラブ首長国連邦	バーレーン、エジプト、カタール
アフリカ	ケニア、タンザニア	モザンビーク、タンザニア
米州	ブラジル、カナダ、チリ、コスタリカ、メキシコ、ペルー	ドミニカ共和国、ペルー
欧州	ロシア、スウェーデン、ウクライナ、英国	オーストリア、エストニア、ラトビア、リトアニア

※1「世界青年の船」（平成２４年度）、「グローバルリーダー育成事業」（平成２５年度）、「グローバルユースリーダー育成事業『シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ』」を含む。